

議会傍聴にお出かけください!!

市政を知る良い機会です。議会傍聴にお出かけください。議場は市役所5階です。傍聴席入口からお入りください。平成30年3月定例会は、下記の日程で開催予定です。

### 開かれた議会へ、議会改革

飯山市議会ではこの3年間、市民の皆さんにより開かれた議会となることを目指し、今までに議会で行われてきたやり方を変えてきました。今回は改革のうちの主なものを紹介します。

◆**一般質問の方法の変更** 従来は一括質問一括答弁方式であった一般質問を、平成24年9月定例会より一問一答方式も行えるように改正しましたが、平成27年9月定例会より全て一問一答方式で行うように改めました。

これは、議員と理事者の間の質問の論点を明らかにするとともに、議論をより一層深めるためという狙いを持たせた改正です。

◆**反問権の拡大** 反問権とは、理事者が議員の質問に対し質問の主旨や論点の確認を行う等のため、議員に問い返すことの出来る権利を言います。一般質問での議論がしっかりと行われるように、平成27年6月定例会より質問内容の確認に加え資料の出典先、それに對する内容確認もできるように反問権の拡大を行いました。

◆**本会議・委員会の傍聴** 市民の皆さんが気軽に傍聴していただけるように、従来は1枚の用紙に何名かの皆さんのお名前を書いていただいていた「傍聴人受付簿」を、一人1枚ずつの「傍聴人受付票」に記入し傍聴人受付箱に入れる方式に改めました。

◆**予算決算常任委員会での審査方法** 予算と決算の審査を充実させるために平成29年3月定例会から、3月と9月の定例会において、総務文教と産業民生の2つの分科会に分かれて審査を行うこととしました。

◆**倫理規程の制定** 議員が品位と名誉を損なうおそれのある行為や、影響力を不正に使用して自己に利益を誘導することの無いよう、必要な事項を定めました。規程では「次に掲げる政治倫理基準を遵守しなければならない。」として、「市民全体の奉仕者として、常にその人格と倫理の向上に努め、議員の品位と名誉を損なう一切の行為を慎みその職務に関して市民の信頼を損なう行為をしないこと。」など6つの項目を定めています。

◆**議会広報の充実** ○平成27年度 平成26年度まで定例会翌々月に、各議員の一般質問の概要を掲載し発行していたものを定例会翌月発行へ変更。○平成28年度 毎月発行することとし、定例会翌月は、活動状況に加え審議された議案と賛否の表決結果・委員会審査内容を掲載。○平成29年度から 定例会開催月を除く8回発行とし、定例会の翌月には平成28年度と同じ内容を、翌々月には各議員の一般質問の概要を掲載することとしました。

◆**市民からのお問い合わせ** 「発言取消しについて、どんな発言であったか議会だよりの中で内容を説明してほしい」との問い合わせがありました。議場において発言した内容の取消しが許可された場合は、その部分の記録はなくなりません。については一切公表できませんのでご了承ください。

### 平成30年3月定例会 会期日程(予定)

- ◆招集・議案上程 2月26日(月)
- ◆一般質問 3月7日(水)～9日(金)
- ◆予算決算常任委員会(分科会) 3月12日(月)・13日(火)
- ◆総務文教常任委員会 3月14日(水)
- ◆産業民生常任委員会 //
- ◆予算決算常任委員会(全体会) 3月16日(金)
- ◆委員長報告・採決 3月20日(火)

## 12月定例会 一般質問



12月12日～14日の3日間にわたり、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。

質問の一部を抜粋しての掲載で、内容につきましては各議員において編集しております。

掲載の順番は質問順です。

### 除雪体制について



萩原洋平議員

**問** GPS除雪管理システムの導入に至るまでの経緯は、システムの性能向上、通信料の値下げ、ランニングコストの低減を背景に、実験的運用の段階と判断して、試験的導入に着手。

**答** スタンドアロン型、クラウド型どちらを導入したか。  
**答** GPS端末を用いたクラウド型を導入、インターネット上で利用できるシステム。  
**問** GPS端末は、今回のどのような組合せか。  
**答** スマートフォン5台、専用端末2台の組合せで実施する計画。

**問** 除雪地区や工区はどこか。  
**答** 第5ブロックに配置、当該ブロック受託業者に加え、市直営工区に配置、市街地及び西廻り線を除雪エリアとしている地区。

◆**ふるさと納税返礼品について**  
**問** 北信州ホームページを返礼品にすることについては、来訪につながる取り組みとして3市村で協議してきたのか。  
**答** 各市村の連携、宿泊先の確保、通常の参加料以上にお金を払う現状では難しい。

### 地域医療の維持



江沢岸生議員

◆**飯山赤十字病院支援希望ふるさと寄付金の状況**

**問** 昨年6月の議会で、私は、ふるさと寄付金をする方が飯山赤十字病院(地域中核医療機関)の支援に的を絞った使用を希望している。9月の末にホームページを通じてという項目が増やされた。現時点で、平成30年度以降、飯山赤十字病院の支援事業に充てることのできる額はおよそ4500万円程度ということではないか。  
**答** そのとおり。

**問** 飯山赤十字病院支援希望のふるさと寄付金の使いみちについて、市の考えを伺いたい。  
**答** 先日飯山赤十字病院より、新たな事業に取り組むので協力いただきたいとの協力要請があった。富山大学への寄付講座の開設ということ。飯山赤十字病院と相談しながら協力してまいりたい。



### 丸山邦雄物語作成について



西澤一彦議員

**問** 戦後満州からの在留邦人引き上げに尽力し、170万人の同胞の命を救った、富倉出身の丸山邦雄氏がNHKでドラマ化され全国放送される。丸山氏の情熱に吉田茂、佐藤栄作、ダグラス・マッカーサーGHQ最高司令官等々が協力し、困難な引き上げ事業が成功した。この郷土が生んだ偉人を顕彰し、物語を作成し、学校でも学習すべきと考えるが。

**答** 賛成である。日本人としてどう生きるか真剣に考え行動された。子どもたちにもいい影響を与える。在留日本人の引き揚げに努力されたことは、半面、戦争というものがどういうものであるか、特に敗戦後の日本を知る上でも、非常に大きな意義がある。全国に知ってもらわなければならない人物である。  
**問** 郷土飯山にも、世界に羽ばたいた人物がいたという、厳然たる事実。スケールの大きな考えに立つ絶好のチャンスと考えるが。  
**答** 同感である。副読本の作成や、ふるさと館での特別展を検討していきたい。

### バイオマス発電について



竹井政志議員

**問** 自然環境破壊や生活環境の悪化につながるという放射能汚染の材木などの搬入はないのか。また新エネルギー事業を積極的にすすめる条例が必要ではないか。  
**答** 搬入はないと企業側から聞いている。先進事例などを参考に今後検討していきたい。

◆**英語導入の全国学力テスト**  
**問** 文科省は平成31年度から中学3年生を対象に実施。教育長の見解は。また創造的な授業を展開する教師の労働時間の改善が必要ではないか。  
**答** 英語学習は時代の要請で自然の流れ。究極の解決策は教員を増やし子どもたちに向き合う時間をつくること。

### 原発再稼働について

**問** 飯山市に最も近い柏崎刈羽原発について、原子力規制委員会審査に合格しているが新潟県知事は再稼働を認めていない。市長の思いを新潟県知事に伝えられないか。  
**答** 再稼働には反対。新潟県知事にも検証して取り組んでほしいと直接伝えていく。



歴史と伝統の重みを観光の拠点に



高山恒夫議員

歴史と伝統の重みを観光の拠点に

問 小菅区で新たに泉宝3点が指定された。その評価は。  
答 江戸時代の数百年も含め、現在まで維持し続けている小菅区の人々に敬意を表したい。国・県等の文化財指定90件のうち20件が小菅の里にある。

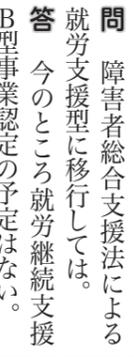
問 古民家活用事業は地域づくりのモデルケースとして期待する。  
答 日本文化に興味のある外国人を含め、宿泊と体験型の地域交流を進めたい。

福祉企業センターについて  
問 市内2か所の市直営施設の役割は。  
答 社会福祉法で規定された授産施設で、就業能力が限られている要保護者等の自立助長を目的に運営されている。

障害者総合支援法による就労支援型に移行しては。  
答 今のところ就労継続支援B型事業認定の予定はない。

障がい者を取巻く自立支援制度は変化している。  
答 主体的役割をどう果たすべきか福祉企業センター運営審議会の中で検討したい。

戸狩工業団地木質バイオマス発電所立地構想



飯田健一議員

問 上野区の説明会で、「井戸は潤れないか」との質問に発電所の井戸は、消雪パイプ用井戸と違い、一年中汲み上げる井戸なのに、「皆さんの井戸に影響のないところから汲み上げると聞いている。」という説明では住民は納得しないと思うが。  
答 企業側で今後調査ボーリングをしてみたい、その上でご理解ご協力を賜りたいと考えている。

照里三区の説明会の際、「地元が反対したらどうなるか」の質問に、副市長は「議会制民主主義だから、議会の承認が重要になる。」と答弁をされているがその真意は。  
答 議会制民主主義は日本における根幹であり、一人でも多くの皆さんに理解してもらった上で議会の同意も必要だと考えている。

みゆきパークの存続について  
問 みゆきパークを守ると言う気構えについて。  
答 11月28日に県・市・JA・生産者・関係団体・関係企業で北信州みゆきパークプロジェクト会議を発足させ存続を図るべく取り組んでいる。

保育政策と学校給食及び障がい者医療費について

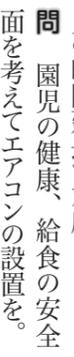


渡辺美智子議員

保育サービス拡充の状況。  
問 休日保育、一時預かり、0歳児保育の需要が増えている。また、保育士の確保は事前に把握し配置している。不足時は、臨時採用やパート職員の間延ばしで対応。  
問 園児の健康、給食の安全面を考慮してエアコンの設置を。  
答 未満児室、ホールは設置済み、給食室は順次進める。  
問 市民の寄付金で給食費の補助がされる。この内訳は。  
答 159名の準要保護児童生徒を対象に支援する。  
問 精神障害者手帳2級、3級の方の医療費自己負担分を福祉医療費に組み込めないか。  
答 制度充実に向けて検討。

災害対策について  
問 玄関先除雪の目的は。  
答 緊急時の避難路確保が目的。対象世帯は119世帯。  
問 シーズン中でも対応は可。  
問 防災無線を住民票あるなしに関わらず、住民税の均等割を納税している事からも貸与すべきと考えるが。  
答 2万円の設置費を負担いただければ可能。設置基準の条例を変える予定はない。

千曲川のはん濫水位と防災体制について



市川久芳議員

◆岳北消防本部の緊急移転水位について  
問 6〜7年前常盤・木島地区内の電柱に「想定浸水深」を国が設置した。また平成28年5月告示の洪水法の根拠からすると5〜10cmの浸水深となつているが消防本部の機能をどこに移転するか、またその基準水位を伺う。  
答 岳北広域行政組合の案件であるので答弁を差し控える。

◆水没する「老健みゆき」の避難対応について  
問 ショートと合わせると150人入居の老健施設が木島地区にある。3階まで水没するが、市はどのような対応をとるのか伺う。  
答 水防法からの浸水深は10〜20cmの区域に入る。千曲川河川事務所が発表している立花の水位を発信している。また早期避難を呼びかけていく。

◆高い公共料金（水道料金）  
問 県下77市町村の中でもトップクラスだが市長の認識は。  
答 料金については若干高いが、千曲川からの脱却を望まれている水道状況は納得していただいていると思う。

地域の中小企業こそ宝政策で希望を



上松永林議員

◆宿泊施設活用推進条例とは  
問 この条例の概要は。  
答 営業目的のため施設を取得した場合、固定資産税等を10年間免除する。  
問 条例の適用を受けた場合でも定期的に検査が必要では。  
答 権限を含め研究したい。

組合・協会に加盟するなど地域活動への参加協力を。  
問 条例の運用は慎重に。さならなる観光振興策も研究を。地域経済活性化のため慎重を期して対応していく。  
◆民泊新法について  
問 民泊新法の概要は。  
答 空家・空室を貸し出す。既存の宿泊施設に影響を及ぼさないように。

民泊は民泊の先駆け。観光全体の活性化を目指し、新法を活用したい。  
◆経済活性化・産業振興  
問 産業振興は地方創生の要。地域の中小企業こそ宝。経済を活性化し人口減少に歯止めを。  
答 様々な施策を行っている。幅広い方々に周知していく必要はある。

平成30年度予算編成に向けて



小林喜美治議員

◆平成30年度予算編成方針について  
問 予算編成方針では「厳格な優先順位的位置づけ」「プロジェクト等による全庁的な視点での事業の見直し」「事業の統合・縮小・廃止」を積極的推進するところがあるが、市民生活に影響のある範囲まで踏み込むのか。  
答 効率化をはかることが目的で、無駄を省き事業効果をあげていくこと、玄関先除雪など市民生活に密着したことについてはしっかりとやっていきたいと思う。

◆有害鳥獣の対策について  
問 生産団地ごとの取り組みや猟友会との連携で、進められているようだが、被害が絶えず耕作をやめてしまう心配がされている。地域の協力も得て対策をする必要があると思う。森林税などの有効な活用で里山整備も必要と思うが。  
答 提案いただいたこと大変重要と思う。個々の対策では対応しきれないと思う。森林整備について森林税も含めて対応していきたい。

議員発行のチラシには責任を!!



久保田幸治議員

某議員発行のチラシNo.10で介護保険料の比較市町村の中野市、大町市の保険料の金額は正しいか。  
答 極端に低く正確でない。  
問 誤りのチラシについて市ではどのように考えるか。  
答 議員各自の責任において訂正等対処すべきと考える。

◆自然エネルギーについて  
問 自然エネルギー公益利用協議会が計画している小水力発電の今後の計画は。  
答 市と公益利用協議会で災害時電力供給協定を結び、雪解けと同時に工事着手し8月の竣工を目指す。

雪利用の今後の計画は。  
問 雪だるま財団の伊藤先生を飯山に迎え勉強会を行う予定。  
問 バイオマス発電、企業誘致の推進を。  
答 慎重かつ丁寧な課題を整理してしっかりと取り組む。

地域観光の振興対策に林道温井野々海線を観光商品として使えないか。  
答 フラットな等高線上にできた林道で初心者、子ども、高齢者でも歩きやすい。森林管理署と相談して検討する。

保育環境の改善について



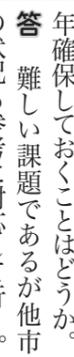
沢川芳三議員

今後の保育士の確保は。  
問 今年度から嘱託・臨時の保育士の定年の延長、あるいは賃金改定を行い待遇の改善を図った。また、若い保育士の確保は大きな課題と認識しており、検討して行く。  
問 将来に備えて今のうちから保育士資格を有する人を毎年確保しておくことはどうか。  
答 難しい課題であるが他市の状況も参考に検討して行く。

未満児室の環境改善を講じてほしい。  
問 未満児室の環境改善は必要であり、早急に検討したい。  
問 教育委員会はもっと良い環境で子どもを育てたいという意気込みを、自己評価の中で見せてほしい。

色々な課題があることは十分認識しており、課題解決に向け今後も努力をする。  
問 飯山市保育園・学校課題検討委員会での検討状況は。  
答 3歳未満児の入所の増加3歳以上の園児の少人数化保育士の確保、保育園の老朽化等現在生じている色々な課題を踏まえて検討を行っている。

木質バイオマス発電所誘致について



松本淳一議員

発電は大量の木を無駄に燃やすのではないか。  
答 バイオマス発電で燃やす木は端材とか、今までお金をかけて処分していた木である。  
問 地元住民より「市は発電ありき」との声があるがどう考えているか。  
答 当初から発電ありという観点からではなく、あくまでも企業誘致の観点で、企業からの申し出を受けて進めている。

補助金申請書の内容をみると『発電ありき』とも受け取れるが、いかがか。  
答 導入計画策定事業の事と思うが、木材の量や実際に作つたらどうなるかという調査を行う。「工業団地への企業」とは違う話で、あくまでも調査事業の中の話だ。

戸狩工業団地は景観条例の適用範囲か。  
問 景観条例は市全体の景観づくりに関する基本事項を定めている。市全体にかかわるので、届け出の必要はある。

一般質問

一般質問